

事前に危険の芽摘む

大林道路四国支店

大林道路四国支店（桑原豊執行



役員四国支店長）と同支店安全衛生協力会（福家雄一会長）は、高松市のマリンパレスさぬきで2019年度安全大会を開いた。写真。関係者ら約80人が参加し、労働災害の撲滅を誓い合った。

冒頭のあいさつで桑原支店長は、「常に安全第一の意識を持って作業に当たり、心を1つにし、基本の順守で事前に危険の芽を摘み取ってほしい。関係者全員で安全で安心できる環境づくりを進めていこう」と呼び掛けた。

続いて福家会長、大林組四国支店安全部の藤田泰広部長のあいさつがあったほか、大林道路の斉藤克巳専務執行役員も「現場で実効性のある安全活動をお願いすると要請した。

この後、表彰式、全国安全週間実施要領の説明、安全宣言などがあった。
(6・20)

